

## ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入可能性（1/3）

ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入可能性は、保健医療の状況やITの普及状況といった社会経済環境の課題に基づく必要性や、保健医療・ITに関する政策・ODAの動向に基づく推進の取組から把握できる。ベトナムの社会経済環境の課題は、所得が低い地域は保健医療の水準が低く、保健医療サービスの地域間格差の是正が必要なことである。また、ベトナムではコミュンヘルスセンターが提供できる保健医療サービスが限定されているため、患者は国立病院等の上位の医療機関に集中する傾向にあり、リファラルシステムを効果的に運用して医療機関の役割分担を実現することも必要である。さらに、ベトナムでは携帯電話・インターネットが所得に比べて普及しており、今後はスマートフォンやタブレットといった携帯端末を利用するためのブロードバンドの普及が急速に進む見込みであることから、患者がITを活用する仕組みの検討も必要である。

## ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入可能性（2/3）

一方、ベトナムの保健医療・ITに関する政策・ODAの動向は、社会経済開発10カ年戦略や保健医療分野の5カ年計画、サテライト病院プロジェクト、保健医療分野の技術協力等において、医療機関間のリファラルシステムの構築を通じた連携の促進が挙げられている。また、社会経済開発10カ年戦略や保健医療分野の5カ年計画、保健医療分野の円借款等では、コミュンヘルスステーションの整備・スキルの向上や、大都市や省・郡の医療機関の整備といった医療機関の改善が挙げられている。さらに保健医療分野の5カ年計画は、中央と地方、公立と私立の医療機関の間で利用できる保健医療情報システムの開発を打ち出しており、医療情報のデータベースやモニタリングシステムといった機能が示されている。

このようにベトナムでは地域医療情報ネットワークに対する必要性は高まっており、地域医療情報ネットワークを推進する政策・ODAの取組も進んでおり、地域医療情報ネットワークの導入ニーズは高いと考えられる（図表・23）。ベトナムの地域医療情報ネットワークは、国立病院が省・郡の医療機関を教育指導するサテライト病院プログラムや、ホアビン省における省・郡の医療機関とコミュンヘルスステーションまでのリファラルシステムを構築する技術協力等における、医療機関間での医療情報の交換を促進する取組に基づいて、導入することが適切だと考えられる。

## ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入可能性（3/3）

図表・23 ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの位置付けと導入の方向性

